

連作障害抑制

作物生育促進

土に活力

★微生物が豊かな土を作ります。



微生物土壤改良材

オーレス®G

特

徴

(有機JAS適合) 15kg

- オーレスGには、細菌・放線菌・酵母等の農業有用微生物(オーレス菌)が豊富に含まれていますので、土壌中の微生物相の改良・安定化に役立ちます。
- オーレス菌の定着・増殖を促すために、良質の有機物が配合されています。(微生物のすみ家やエサになります。)
- 土壌中の病原菌類の活動の抑制に役立ちます。
- 土壌消毒後の施用は、消毒の持続効果を高めたり、

病原菌による再汚染の予防に役立ちます。

- 土壌の団粒化を促進し、空気の流通や太陽光線の透過を良くします。
- 土壌中の肥料成分を植物に吸収されやすい状態(可給態)に変化させ、肥料効率を高めます。
- 作物の根張りを良くし、作物の生育促進・体質強化に役立ちます。
- 高品質ボカシ肥料作りの種菌として使えます。

製造元
発売元

(株)松本微生物研究所

〒390-1241 長野県松本市大字新村2904番地
TEL:0263(47)2078 FAX:0263(47)7636

販売店



微生物
土壌改良材

オーレス®の使い方

土作り

(使用量は元肥的な施用で10a当り60kg～90kg)

■良質堆肥と併用して下さい。10a当り1t以上。

良質堆肥がオーレス菌の良好なエサ・すみ家となり、オーレス菌が働きやすい環境を作ります。

■施用後できるだけ早く耕起し、土壌にすき込んで下さい。

■オーレス菌が十分に活動するためには、水分が必要です。

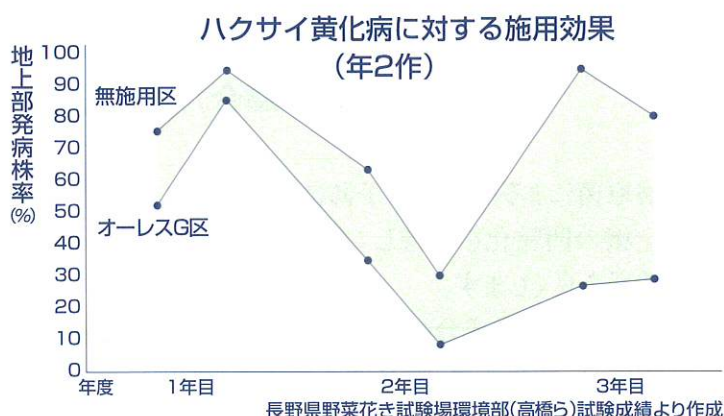
施用後たっぷり散水するなど、水分を与えて下さい。

■施用後、播種までは1週間～10日、定植までは3日～1週間「養生期間」をあけて下さい。

オーレス菌が土中に定着、活性化するために酸素・窒素を必要とします。そのため、作物にとっては一時的な酸素・窒素欠乏を起こすことがあります。それを防ぐため「養生期間」をあけ、オーレス菌を土によくなじませて下さい。

太陽熱・土中還元・農薬などによる土壌消毒後は菌密度が低下しています。有害菌の復活・優勢化による土壌の再汚染を予防したり、消毒の持続効果を高めるために「オーレスG」の施用は効果的です。

■農薬による土壌消毒後は十分にガス抜きしてから施用・耕起して下さい。



「パーティシリウムに対して抑制効果があり、ハクサイ黄化病の発病を軽減する効果が認められ、ハクサイの安定生産に有効である」(長野県農林研究財団・長野県施肥改善協議会の試験評価より)

ボカシ肥料作り

ボカシ材料500kgに「オーレスG」30kgを混合、水分50%～60%位(やや湿っている程度)で堆積して下さい。肥料分が揮散ないように発酵温度を50℃以下に抑えて下さい。発酵温度が上がり過ぎる場合は、うすめに堆積、適宜切り返して下さい。夏は3日～5日、冬は1週間～10日前後でオーレス菌が豊富なボカシ肥料が出来ます。

注意事項

- 殺菌剤・石灰窒素との混合施用は避けて下さい。
- 直射日光の当たらない、乾燥した涼しいところに保管して下さい。
- 開封後、保管する場合は、しっかりと封をして湿気が入らないようにして下さい。